

自己評価票

【自己評価の意義・目的】

- 自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことにより、サービスの質の向上を図るシステムの1つです。
- サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や第三者評価、苦情解決制度や権利擁護制度、さらには、アンケート調査等による利用者からの声の反映、オンブズマン機能などが相まって実施されることにより達成されるものです。
- この自己評価の結果を公表することにより、利用者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

記入年月日	平成 19年 10月 1日									
法人名	株式会社 ダスキンゼロケア									
代表者(理事長)名	本間 恒夫									
介護保険事業所番号	2	7	7	0	1	0	7	4	3	7
サービスの種類	・ 認知症対応型共同生活介護 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所									
	・ 介護予防認知症対応型共同生活介護 ・ 介護予防小規模多機能型居宅介護事業所									
事業所名称	ダスキンゼロケア 津久野センター 津久野の家									
事業所所在地	大阪府堺市堺区神石市之町16番25号 FOCT ファーストビル									
記入担当者職・氏名	(職) 管理者 (氏名) 岡田 美和									
連絡先電話番号	072-267-6525									

自己評価項目構成

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【自己評価の実施方法】

- 運営者(法人代表者等)の責任の下に、管理者が従業者と協議しながら実施してください。
- 「評価項目」ごとに評価をしてください。
- その判断した理由や根拠のポイントを記入してください。
- 少なくとも、年に1回は自己評価を実施してください。
- 優れている点や改善すべき点などの特記事項についても、別途、記録しておいてください。
- 改善すべき事項については、改善のための計画(任意様式)を作成してください。
- 利用者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように、利用申込者又はその家族に交付する重要事項説明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどし、評価結果を積極的に公表してください。
- 評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>理念</p> <p>1. 無上の喜び お客様の喜びを私たちの喜びとします。</p> <p>2. 無心の奉仕 真心をこめた介護サービスを提供します。</p> <p>3. 無限の研鑽 最新の知識と技術を修得し、優秀性を追求します。</p>	<p>グループホームの玄関先に掲げている。 研修の際に唱和している。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>研修をおこなっている。 研修の際に唱和している。</p>	<p>研修をおこなっている。 研修の際に唱和している。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進委員会開催の際に、説明している。 イベントの折に、ビデオを見てもらい、パンフレットを配布している。</p>	<p>運営推進委員会開催の際に、説明している。 イベントの折に、ビデオを見てもらい、パンフレットを配布している。</p>
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>犬の散歩や外出時、日常的な挨拶やお付き合いをしている。</p>	<p>犬の散歩や外出時、日常的な挨拶やお付き合いをしている。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>老人会のふれあいサロンに毎月出席している。 地域の夏祭り・敬老会の日の行事などに参加している。また、麦の会のバザーには協賛している。</p>	<p>老人会のふれあいサロンに毎月出席している。 地域の夏祭り・敬老会の日の行事などに参加している。また、麦の会のバザーには協賛している。 今後は、地域児童との交流や地域の他施設と交流していきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取組んでいる</p>	○	<p>バザーや介護相談会・介護技術向上のためのセミナーをおこないたい。</p>
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>評価を生かして、毎回指導を受けたことは改善している。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		<p>2ヶ月に1度、運営推進会議を開催。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>苦情処理報告・事故処理報告など毎回している。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>後見制度の利用している入居者が2名おられ、関係者と話し合い、支援している。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>拘束に関する研修また、認知症の方との接し方について研修している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、家族と事業者側とで契約書を読み合わせ、その都度質問や疑問があればお答えしている。解約をする際は十分な説明を行い、入居者や家族が困らないように、納得のいく退去先に移れるよう支援している。	契約時には、家族と事業者側とで契約書を読み合わせ、その都度質問や疑問があればお答えしている。解約をする際は十分な説明を行い、入居者や家族が困らないように、納得のいく退去先に移れるよう支援している。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護保険課と調整し、オンブズマンが入る予定。	介護保険課と調整し、オンブズマンが入る予定。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月始めに、お手紙を出している。	毎月始めに、お手紙を出している。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現在のところ、外部者へ表せる機会は第三者評価のアンケートのみである。	○ 今後本社からアンケート調査などしたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案書を配布し、提出を促している。	○
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	近隣在住の職員が多く不穏者出現などの時、1人余分に人員配置している。	近隣在住の職員が多く不穏者出現などの時、1人余分に人員配置している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>現在まで異動や離職は少ない。ただ夜勤者の確保・維持はむづかしい。</p>	<p>現在まで異動や離職は少ない。ただ夜勤者の確保・維持はむづかしい。</p>
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修計画を立て実施している。</p>	<p>年間研修計画を立て実施している。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>堺市のグループホームの連絡会に毎回出席している。</p>	<p>堺市のグループホームの連絡会に毎回出席している。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>会議や申し送りの場で職員に、自由に発言してもらっている。 事業所内で総合交流の場を設けている。</p>	<p>会議や申し送りの場で職員に、自由に発言してもらっている。 事業所内で総合交流の場を設けている。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>6ヶ月に1度面談し、評価している。</p>	<p>6ヶ月に1度面談し、評価している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメントをとり、体験などしていただいて、よく聴く機会をつくっている。	アセスメントをとり、体験などしていただいて、よく聴く機会をつくっている。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学に来られた時など、アンケート調査し、聴き取りしている。	見学に来られた時など、アンケート調査し、聴き取りしている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他施設など必要なら紹介している。	他施設など必要なら紹介している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	デイサービスや訪問介護事業を利用する中で、グループホームを訪問して慣れて頂いている。	デイサービスや訪問介護事業を利用する中で、グループホームを訪問して慣れて頂いている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事一般すべて一緒に行い回想法で、昔の道具の使い方など若い職員に教えてもらっている。	家事一般すべて一緒に行い回想法で、昔の道具の使い方など若い職員に教えてもらっている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族やお手紙・面会のお誘いをしているが、なかなか連絡がとれず、第三者的立場からの脱却がむづかしい。		家族やお手紙・面会のお誘いをしているが、なかなか連絡がとれず、第三者的立場からの脱却がむづかしい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事や日程の写真などを送り、日常のご様子をお伝えしている。本人様が電話したいとおっしゃればしてもらい、代弁したりしている。		行事や日程の写真などを送り、日常のご様子をお伝えしている。本人様が電話したいとおっしゃればしてもらい、代弁したりしている。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	妻のお葬式に職員が付き添う。家の近隣に旅行をし話題にする。 本人に馴染みのある、写真や新聞記事を見せている。		妻のお葬式に職員が付き添う。家の近隣に旅行をし話題にする。 本人に馴染みのある、写真や新聞記事を見せている。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ゲームや家事に参加し、グループワークを実施している。 犬の世話や散歩など、役割分担をして助けあっている。		ゲームや家事に参加し、グループワークを実施している。 犬の世話や散歩など、役割分担をして助けあっている。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所し入院され、退院されてからも別の施設（本グループホーム満室であったため）交流している。 家族様から相談があったときは、対応している。		退所し入院され、退院されてからも別の施設（本グループホーム満室であったため）交流している。 家族様から相談があったときは、対応している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスで意向について、職員相互で情報交換・意見交換している。	カンファレンスで意向について、職員相互で情報交換・意見交換している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時に情報収集に努めているが、その後は家族様から新情報を寄せてもらうことは難しい。	アセスメント時に情報収集に努めているが、その後は家族様から新情報を寄せてもらうことは難しい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日課表を1ヵ月ごとに作成し、評価している。	日課表を1ヵ月ごとに作成し、評価している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスで意見交換し、職員会議や提案書でアイデアを集め、介護計画を作成している。	カンファレンスで意見交換し、職員会議や提案書でアイデアを集め、介護計画を作成している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	区分変更を含め、体調やADLの変化にともない、新たな計画を作成している。	区分変更を含め、体調やADLの変化にともない、新たな計画を作成している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づいたケース記録を使用し記入後、重要事項については（体調不良・ケアの注意事項等）申し送りノートにも記入し、情報が漏れないように管理している。 情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。		ケアプランに基づいたケース記録を使用し記入後、重要事項については（体調不良・ケアの注意事項等）申し送りノートにも記入し、情報が漏れないように管理している。 情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	レクレーションや行事・介護保険外サービスなど、通所・訪問と相互サービスの交流を行っている。		レクレーションや行事・介護保険外サービスなど、通所・訪問と相互サービスの交流を行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	出前講座を依頼したり、避難訓練など、各機関等と協力してサービスの多様化をめざしている。		出前講座を依頼したり、避難訓練など、各機関等と協力してサービスの多様化をめざしている。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	堺市のグループホームの連絡会で情報交流をおこなっている。		堺市のグループホームの連絡会で情報交流をおこなっている。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターと協働して後見人を設置、入院支援などおこなっている。		包括支援センターと協働して後見人を設置、入院支援などおこなっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		<p>心身の変化や異常発生時に、昼夜を問わず気軽に相談できる関係である。</p> <p>症状によっては、専門病院を紹介してもらっている。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>2週間に一度、認知症の専門医に往診していただいている。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>併設のデイサービス看護師に勤務時間外で相談している。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>入院した場合、職員会議において早期退院のための話し合いや協力を医療機関と行っている。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>入所後すぐに、ご家族様とかかりつけ医とで重度化した場合や終末期のあり方について話し合いの場を設けている。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>すでに、お一人の方をかかりつけ医協力のもと看取っており、常に職員と話し合いの場を設けている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入退居の前後には、ご本人様の日常生活や日課等に関係者と十分な情報提供を行い、ご本人様が心身共にダメージがないように配慮をしている。		入退居の前後には、ご本人様の日常生活や日課等に関係者と十分な情報提供を行い、ご本人様が心身共にダメージがないように配慮をしている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員がご入居者様一人ひとりのできることとできないことを把握しており、言葉かけや対応をしている。個人の記録やケース等は施錠できる場所に保管している。		職員がご入居者様一人ひとりのできることとできないことを把握しており、言葉かけや対応をしている。個人の記録やケース等は施錠できる場所に保管している。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員がご入居者様一人ひとりのできることとできないことを把握しており、自分の意思で決定することを重視している。		外食時、自分でメニューを決めていただく。買物時、衣類等は自分で選んでいただいている。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居様一人ひとりが楽しみ事や出番を見出せるよう、場面づくりなどの支援をおこなっている。		ご入居様一人ひとりが楽しみ事や出番を見出せるよう、場面づくりなどの支援をおこなっている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	服装や髪型について、ご入居者様一人ひとりの意向に配慮している。希望にあわせて、理美容院の利用を支援している。		服装や髪型について、ご入居者様一人ひとりの意向に配慮している。希望にあわせて、理美容院の利用を支援している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		<p>茶碗や湯のみ、箸などは一人ひとりが使い慣れたものになっている。</p> <p>職員も入居者と同じ食事を一緒に食べながら、食べ方の混乱や食べこぼしなどに対する援助を行っている。</p> <p>食材購入のために入居者と一緒に買い物に出かけ、入居者の意見を聞き食事作りを行っている。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		<p>かかりつけ医と相談し、一人ひとりの心身の状況を考慮して支援している。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		<p>おむつをできる限り使用しないで済むように入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や自立に向けた支援を行っている。</p> <p>ナースコールは円滑に作動し、呼び出しには速やかに対応している。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		<p>入浴前には、健康状態のチェックを行い、入居者の心身の状態にあわせ入浴方法も配慮している。</p> <p>時間帯・長さ・回数等、入居者一人ひとりの希望にあわせてくつろいだ入浴ができるように支援している。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		<p>入居者一人ひとりの睡眠のパターンを把握し、夜眠れない入居者には1日の生活のリズムを通した安眠策をとっている。</p> <p>入居者一人ひとりが楽しみごとや場面づくりなどの支援を行っている。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>買い物・散歩・外出行事・園芸・犬の世話等日常生活の中で自然に取り組んでいる。</p> <p>寝る前に希望者には、足浴をおこなっている。</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい 項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物・外出行事の際には、入居者に職員ができるかぎり一対一で付き添い支援している。		買い物・外出行事の際には、入居者に職員ができるかぎり一対一で付き添い支援している。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物・散歩・外出行事・園芸・犬の世話等戸外に出かけられるよう支援している。		買い物・散歩・外出行事・園芸・犬の世話等戸外に出かけられるよう支援している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に一度家族参加のもとで、一泊二日で旅行に行っている。		年に一度家族参加のもとで、一泊二日で旅行に行っている。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご入居様希望時に電話ができるよう支援し、レクレーションで作成した絵手紙をご家族様に送ったりしている。		ご入居様希望時に電話ができるよう支援し、レクレーションで作成した絵手紙をご家族様に送ったりしている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも面会でき、その時に外出希望あれば、外出届を記入していただき行っていただいている。		いつでも面会でき、その時に外出希望あれば、外出届を記入していただき行っていただいている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないための研修や検討会を開催したり、外部の研修会や勉強会等にも積極的に参加している。		身体拘束を行わないための研修や検討会を開催したり、外部の研修会や勉強会等にも積極的に参加している。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>ご入居者さまの自由な暮らしを支援し、ご入居者様やご家族様等に心理的圧迫をあたえないように、日中は玄関に鍵をかけないですむような配慮をしている。やむを得ず鍵をかける場合は、その根拠が明白で、その理由を家族に説明している。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		<p>職員は常にご入居者様一人ひとりの人格を尊重しプライバシーに配慮しながら、常に安全確認を行っている。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>あえてなくすのではなく、見守りを徹底し危険を防ぐ対応をしている。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		<p>発生した事故事例の分析をし、事故防止策を検討し、再発防止に取り組んでいる。 サービス提供時に、事故が生じた場合に備え、連絡先、対応手順、対応責任者などを定めた対応マニュアルを作成し、職員に周知している。 誤薬がないように職員2名で確認（準備段階）している。服用の際、再度日付・氏名を確認している。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		<p>定期的避難訓練を行い、応急手当等の研修を行っている。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>非常時の対応マニュアルを整備している。 非常食を備えている。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい内容 取組んでいない項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ケアプランを作成及び更新した際に、起こりうる可能性のあるリスクについては今後の対応を含め、ご家族様に説明している。		ケアプランを作成及び更新した際に、起こりうる可能性のあるリスクについては今後の対応を含め、ご家族様に説明している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェック・顔色等確認し、心身の変化や異常発生時には、職員間の申し送りを徹底している 急変事は昼夜を問わず、かかりつけ医に連絡している。		毎日バイタルチェック・顔色等確認し、心身の変化や異常発生時には、職員間の申し送りを徹底している 急変事は昼夜を問わず、かかりつけ医に連絡している。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方が変更された場合、個々のケース・申し送りノートにて職員に周知徹底している。 医師往診時は、職員2名にて話を聞き、間違いのないようにしている。 ご入居様が服薬している薬の説明書・お薬手帳を管理している。		薬の処方が変更された場合、個々のケース・申し送りノートにて職員に周知徹底している。 医師往診時は、職員2名にて話を聞き、間違いのないようにしている。 ご入居様が服薬している薬の説明書・お薬手帳を管理している。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給・運動・食事についてできるだけ自然に排便できるように支援している。 やむ得ない場合は、医師指示のもと服薬していただいている。		水分補給・運動・食事についてできるだけ自然に排便できるように支援している。 やむ得ない場合は、医師指示のもと服薬していただいている。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	ご入居者様一人ひとりの状態に合わせて、口の中の汚れや臭いが生じないように歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等口腔の清潔を支援している。		ご入居者様一人ひとりの状態に合わせて、口の中の汚れや臭いが生じないように歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等口腔の清潔を支援している。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重管理をおこないながら、ご入居者様一人ひとりの食べる量を管理している。 好きなときにお茶が飲めるように、常時設置している。		体重管理をおこないながら、ご入居者様一人ひとりの食べる量を管理している。 好きなときにお茶が飲めるように、常時設置している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ご家族様了解の上、インフルエンザの予防接種を施行。加湿器の設置。 ご入居者様と職員の手洗い及び手指消毒とうがいの徹底。毎日の共用の生活部分の掃除。定期的な布団干しとシーツ交換。 食器の熱湯消毒（食洗器）。糞尿・嘔吐物の速やかな処理。		ご家族様了解の上、インフルエンザの予防接種を施行。加湿器の設置。 ご入居者様と職員の手洗い及び手指消毒とうがいの徹底。毎日の共用の生活部分の掃除。定期的な布団干しとシーツ交換。 食器の熱湯消毒（食洗器）。糞尿・嘔吐物の速やかな処理。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ほとんど毎日買物に行き、新鮮な食材を購入している。 賞味期限の過ぎたものは処理している。 職員の検食及び検査用取り置き分を保存している。 食器の熱湯消毒（食洗器）。		ほとんど毎日買物に行き、新鮮な食材を購入している。 賞味期限の過ぎたものは処理している。 職員の検食及び検査用取り置き分を保存している。 食器の熱湯消毒（食洗器）。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	1階の玄関部分に親しみやすい表札を掲げている。		1階の玄関部分に親しみやすい表札を掲げている。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気を保てるよう調度や設備、物品や装飾にしている。		家庭的な雰囲気を保てるよう調度や設備、物品や装飾にしている。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中で、ご入居者様が一人になったり、気のあったご入居者様同士で自由に過ごせるような居場所を確保している。（廊下にソファを設置）		共用空間の中で、ご入居者様が一人になったり、気のあったご入居者様同士で自由に過ごせるような居場所を確保している。（廊下にソファを設置）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>使い慣れた家具や本・絵画を置き、ご本人様好みの居室になるように配慮している。</p>
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		<p>24時間換気機能があり、常に換気している。洗濯物干し等、たびたび窓を開ける機会が多いが、空気入れ替えを常時している。室温計を設置し、こまめに注意している。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		<p>ホーム内はバリアフリーになっているが、浴室は一般家庭使用である。しかしかえってご入居者様のADLが向上し開設時より、入浴中の事故は起こっていない。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		<p>各居室前に表札や各入居者様の作品を飾り工夫している。トイレや風呂場もわかるように表示をしている。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>4階ベランダに、ご入居者様と一緒に洗濯物を干しに行ったり、バーベキューをしている。1階玄関周りに花壇を設けており、土いじりをいただいている。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

セラピー犬を飼って毎日ご入居様と散歩に行っている。
外出行事。
毎日買い物に行っている。